

真柴まちづくり計画

真滝12区	168世帯	458人
真滝13区	450世帯	1, 492人
真滝14区	100世帯	363人
真滝15区	395世帯	1, 051人
東中田自治会	640世帯	1, 802人
真柴まちづくり協議会	1, 753世帯	5, 035人

真柴まちづくり協議会

平成28年3月4日策定

目次

1. はじめに

計画策定の趣旨

2. 地域計画づくりの目的

(1) 地域づくりの目的

(2) 地域づくりの目標

3. 真柴地区の特色と課題

(1) 地区の歴史

(2) 地区の魅力

(3) 地区の現状 (表1～表6)

(4) 地区の課題

(5) 地区の10年後

4. 地域づくり計画

地域づくり計画の課題と解決策

5. 計画スケジュール

6. まちづくり推進組織

真柴まちづくり協議会役員名簿

1. はじめに

計画策定の趣旨

私たちが住んでいる真柴地域は、農業を中心とした自然環境に囲まれた地域で、昔から、お互いに助けあいながら、暮らしてきました。

近年では、周辺地域に工業団地の造成、中田団地の造成等により人口増となった時期もありましたが、少子高齢化・人口減少が進行し、それぞれの生活にうるおいや、ゆとりが少なくなり、地域としての活気が失われつつあります。

そこで、私たち自身が、地域を見つめなおし、みんなで話し合いながら、真柴地区がどのような地域であるべきかを考え、地域の課題に取り組むための指針としてこの計画を策定するものです。

今後は、この計画の具現化に向けて、さらなる話し合いを重ねながら、みなさんとともに積極的に活動していきたいと思います。

2. 地域づくり計画の目的

(1) 地域づくりの目的

平成27年6月14日、真柴の地域づくりを目指して、設立総会が開催されました。これまで長年運営されてきた『真柴振興会』を解散し、新たに『真柴まちづくり協議会』が発足し、複数回にわたり役員会、策定委員会、専門部会により、地域住民のアンケート調査、地域懇談会を経て地域計画としてまとめたものです。

本計画は、真柴地区の住民が主体的に調査や話し合いを重ね、自立と協働により、豊かな住みよいまちづくりに向けて課題を解決し、活気があり、豊かな住みよい地域を目指すものです。

(2) 地域づくりの目標

- ① 高齢者・障がい者に優しく安心して暮らせる地域
- ② 皆で協力し合い安心して暮らせる地域
- ③ 活気があって若者が定住できる地域
- ④ 子供達の声が聞こえる地域
- ⑤ 自然環境が豊かな地域

3. 真柴地区の特色と課題

（1）真柴地域の歴史

真柴地区は、昔、吾勝郷桜野荘と言われ、延暦20（西暦800年）年坂上田村麻呂が大武丸を退治し、その死骸を埋めた所と伝えられ、鬼死骸と言われてきました。

明治8年鬼死骸村と牧沢村が合併して真柴村となり、明治22年に真柴、滝沢、狐禪寺、三関が合併し真滝村となりました。

当地区は、農業を唯一の主な生業としておりましたが、昭和10年から昭和30年にかけ、燃料として亜炭の需要が高まり、多くの炭鉱が掘られ、採掘されました。しかし、産業の近代化に伴い衰退しました。

近年、市では工業団地、住宅団地の造成により、多くの企業が進出し、このため当地区の宅地化と人口の増加が進み、地域が発展してまいりました。反面昔の面影が薄れています。

また、この地区は日本の動脈である国道4号線、東北本線、東北新幹線が通り、県南部の東西を結ぶ国道284号線、国道342号線、大船渡線が通る交通の要衝であります。

この地は、中央から攻められ、先人たちが戦った場所で、藤原時代100年、葛西時代400年、田村藩300年を経て、明治と変遷してまいりました。

松尾芭蕉が旅した奥の細道の足跡が、牧沢、宮沢、柳沢、蔵主沢に残されています。また当地区は、神仏に対する信仰心が厚く、多くのお寺や神社、供養碑、石碑が建てられており、旧家では個々に氏神様がまつられています。

これらは、地域の心の依り所として、代々受け継がれてまいりました。大切に保存し、次世代に伝えていくことが重要だと思います。

（平成26年12月 真柴地区振興会）

（2）当地区の魅力

平成27年10月に実施したアンケートによると、当地区は自然が多く閑静で、周囲の皆さんのが親切で優しい。また、治安が良く伝統的な文化があり、皆で協力し合い地区が清掃美化されていて、住みやすい、非常に魅力のある地域です。

（3）当地区の現状

人口規模は、平成27年3月末で約5,000人であるが、平成23年3月から比較すると300人弱の人口減となっている。54歳以下の年齢層全てにおいて人口が減少し、世帯の世代交代が進んでいないと考えられる、特に15歳から24歳までの青年層及び40歳から49歳の成年層は横ばいであり、55歳以上の準高齢者及び高齢者層の増加が顕著で、総人口は減少傾向にあり、確実に少子高齢化が進んでいる。

【地区毎の人口推移】表1～表5 (H23～H27の年齢別人口分布)

H23年3月末		55歳以上準限界率					65歳以上限界率					青年層					成年層					11.3%	
		55歳以上合計					65歳以上合計					15～24歳					40～49歳					600	
行政区名	男女	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～100歳	合計	
真滝12区	男	12	9	8	13	2	16	17	16	10	12	16	27	29	16	13	13	8	2	1	0	240	
	女	10	9	2	6	8	12	17	16	7	12	15	29	26	17	14	17	13	9	0	1	240	
	男女計	22	18	10	19	10	28	34	32	17	24	31	56	55	33	27	30	21	11	1	1	480	
真滝13区	男	30	29	39	31	28	29	34	37	49	46	61	74	53	44	34	46	22	12	6	1	705	
	女	23	28	33	40	25	22	35	57	36	47	58	56	69	46	53	47	44	43	31	14	807	
	男女計	53	57	72	71	53	51	69	94	85	93	119	130	122	90	87	93	66	55	37	15	1512	
真滝14区	男	6	3	11	7	6	12	10	5	8	7	11	13	21	9	15	8	12	5	2	0	171	
	女	4	4	9	7	4	7	8	6	6	9	13	19	8	18	11	20	15	4	11	5	188	
	男女計	10	7	20	14	10	19	18	11	14	16	24	32	29	27	26	28	27	9	13	5	359	
真滝15区	男	17	29	38	27	12	26	21	46	38	29	29	36	43	33	36	37	21	7	1	1	527	
	女	25	38	33	33	14	30	24	53	36	31	24	41	56	37	35	43	31	12	1	1	598	
	男女計	42	67	71	60	26	56	45	99	74	60	53	77	99	70	71	80	52	19	2	2	1125	
東中田	男	36	50	69	51	42	33	49	72	48	53	58	77	102	74	34	26	14	6	1	0	895	
	女	29	56	56	53	28	31	56	71	64	52	69	99	115	56	37	24	24	13	4	0	937	
	男女計	65	106	125	104	70	64	105	143	112	105	127	176	217	130	71	50	38	19	5	0	1832	
真柴地区	男	101	120	165	129	90	116	131	176	153	147	175	227	248	176	132	130	77	32	11	2	2538	
	女	91	135	133	139	79	102	140	203	149	151	179	244	274	174	150	151	127	81	47	21	2770	
	男女合計	192	255	298	268	169	218	271	379	302	298	354	471	522	350	282	281	204	113	58	23	5308	

H24年3月末		55歳以上準限界率					65歳以上限界率					青年層					成年層					11.9%	
		55歳以上合計					65歳以上合計					15～24歳					40～49歳					627	
行政区名	男女	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～100歳	合計	
真滝12区	男	11	9	11	12	1	13	16	15	14	8	16	23	30	16	10	11	11	3	0	0	230	
	女	10	10	2	7	8	9	16	14	12	12	9	24	30	18	14	17	11	11	0	0	234	
	男女計	21	19	13	19	9	22	32	29	26	20	25	47	60	34	24	28	22	14	0	0	464	
真滝13区	男	31	27	37	32	30	26	36	36	47	46	58	68	60	46	37	46	28	11	6	0	708	
	女	18	29	28	38	20	32	30	50	43	47	47	61	74	39	54	49	48	31	16	802		
	男女計	49	56	65	70	50	58	66	86	90	93	105	129	134	85	91	95	76	59	37	16	1510	
真滝14区	男	6	2	10	5	9	9	13	6	7	8	11	13	20	7	19	10	7	8	3	0	173	
	女	3	3	7	10	2	5	6	8	7	8	11	17	12	13	15	16	22	10	8	4	187	
	男女計	9	5	17	15	11	14	19	14	14	16	22	30	32	20	34	26	29	18	11	4	360	
真滝15区	男	17	28	36	25	12	18	27	43	42	27	28	30	47	33	29	41	18	9	1	0	511	
	女	20	41	34	33	12	26	24	51	39	26	30	38	47	40	38	42	29	15	4	1	590	
	男女計	37	69	70	58	24	44	51	94	81	53	58	68	94	73	67	83	47	24	5	1	1101	
東中田	男	29	49	61	53	34	37	46	64	62	45	58	79	101	79	37	26	20	4	1	0	885	
	女	28	50	61	49	29	41	54	64	72	55	65	87	127	62	39	24	26	12	5	0	950	
	男女計	57	99	122	102	63	78	100	128	134	100	123	166	228	141	76	50	46	16	6	0	1835	
真柴地区	男	94	115	155	127	86	103	138	164	172	134	171	213	258	181	132	134	84	35	11	0	2507	
	女	79	133	132	137	71	113	130	187	173	148	162	227	290	172	160	148	136	96	48	21	2763	
	男女合計	173	248	287	264	157	216	268	351	345	282	333	440	548	353	292	282	220	131	59	21	5270	

H25年3月末		55歳以上準限界率					65歳以上限界率					青年層					成年層					12.3%	
		55歳以上合計					65歳以上合計					15～24歳					40～49歳					626	
行政区名	男女	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～100歳	合計	
真滝12区	男	11	6	9	16	2	11	12	15	18	7	14	16	35	20	11	8	13	4	0	0	228	
	女	7	12	5	5	4	8	17	15	10	13	9	20	32	20	14	14	14	11	2	0	232	
	男女計	18	18	14	21	6	19	29	30	28	20	23	36	67	40	25	22	27	15	2	0	460	
真滝13区	男	28	31	38	32	25	22	34	40	44	46	55	61	63	54	27	45	29	15	4	1	694	
	女	21	26	27	37	22	25	32	48	47	41	50	57	64	50	57	52	47	47	34	13	797	
	男女計	49	57	65	69	47	47	66	88	91	87	105	118	127	104	84	97	76	62	38	14	1491	
真滝14区	男	8	2	7	8	6	7	16	4	7	7	12	10	20	10	15	14	9	8	3	0	173	
	女	6	2	7	7	4	2	7	7	9	3	12	15	16	11	14	14	21	10	13	5	185	
	男女計	14	4	14	15	10	9	23	11	16	10	24	25	36	21	29	28	30	18	16			

H26年3月末		55歳以上準限界率				45.5%		65歳以上限界率				28.9%		青年層		8.6%		成年層		12.2%			
		55歳以上合計				2,309		65歳以上合計				1,468		15~24歳		439		40~49歳		621			
行政区名	男女	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~100歳	合計	
		男	10	6	10	12	3	8	15	16	15	12	12	15	35	19	15	8	13	5	0	0	229
真滝12区	女	5	11	10	4	2	7	15	17	14	10	9	21	28	22	16	12	15	9	4	0	0	231
	男女計	15	17	20	16	5	15	30	33	29	22	21	36	63	41	31	20	28	14	4	0	0	460
	男	32	27	31	40	24	22	29	50	41	48	48	64	69	51	31	39	33	14	7	2	702	
真滝13区	女	19	26	30	36	26	27	32	38	52	38	51	58	59	54	57	52	47	47	33	18	800	
	男女計	51	53	61	76	50	49	61	88	93	86	99	122	128	105	88	91	80	61	40	20	1502	
	男	6	4	8	8	5	7	16	5	7	6	12	8	15	17	13	14	8	8	2	0	169	
真滝14区	女	5	3	5	9	2	2	9	7	9	1	13	10	19	10	17	17	18	13	13	5	187	
	男女計	11	7	13	17	7	9	25	12	16	7	25	18	34	27	30	31	26	21	15	5	356	
	男	14	24	26	33	15	8	27	34	41	34	29	24	42	41	28	37	22	13	0	1	493	
真滝15区	女	18	33	34	35	10	19	28	33	54	25	26	31	51	45	43	39	29	20	6	1	580	
	男女計	32	57	60	68	25	27	55	67	95	59	55	55	93	86	71	76	51	33	6	2	1073	
	男	25	57	53	62	24	38	41	62	63	46	59	68	86	102	46	26	21	7	0	1	887	
東中田	女	27	45	59	53	25	34	46	65	79	51	57	78	121	80	50	22	23	18	7	1	941	
	男女計	52	102	112	115	49	72	87	127	142	97	116	146	207	182	96	48	44	25	7	2	1828	
	男	87	118	128	155	71	83	128	167	167	146	160	179	247	230	133	124	97	47	9	4	2480	
真柴地区	女	69	121	124	144	69	82	124	158	179	129	161	181	234	229	164	144	123	89	50	25	2599	
	男女合計	156	239	252	299	140	165	252	325	346	275	321	360	481	459	297	268	220	136	59	29	5079	

H27年3月末		55歳以上準限界率				46.4%		65歳以上限界率				30.4%		青年層		8.8%		成年層		12.2%			
		55歳以上合計				2,334		65歳以上合計				1,532		15~24歳		445		40~49歳		613			
行政区名	男女	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~100歳	合計	
		男	9	7	12	13	1	6	10	24	16	10	11	15	28	25	17	6	13	5	0	0	228
真滝12区	女	5	10	7	5	4	5	15	18	14	9	11	17	27	25	17	13	14	10	4	0	0	230
	男女計	14	17	19	18	5	11	25	42	30	19	22	32	55	50	34	19	27	15	4	0	0	458
	男	27	30	34	37	18	24	34	36	41	52	50	62	66	52	38	36	33	21	6	1	698	
真滝13区	女	24	29	29	33	24	24	30	35	54	34	47	57	58	62	55	51	51	45	34	18	794	
	男女計	51	59	63	70	42	48	64	71	95	86	97	119	124	114	93	87	84	66	40	19	1492	
	男	6	6	7	11	5	9	13	9	6	8	8	9	12	19	8	15	9	11	4	0	175	
真滝14区	女	4	2	5	10	4	4	7	7	8	3	11	11	22	7	16	15	16	17	15	4	188	
	男女計	10	8	12	21	9	13	20	16	14	11	19	20	34	26	30	25	28	19	4	363		
	男	13	24	28	36	16	5	21	38	37	31	26	29	40	38	34	38	18	12	1	1	486	
真滝15区	女	12	29	36	30	15	10	30	28	55	30	29	27	46	52	42	29	33	26	5	1	565	
	男女計	25	53	64	66	31	15	51	66	92	61	55	56	86	90	76	67	51	38	6	2	1051	
	男	25	50	50	62	26	33	41	60	66	45	57	59	81	93	65	31	20	10	1	0	875	
東中田	女	26	45	61	53	31	23	43	57	76	57	69	109	92	52	28	23	16	8	1	927		
	男女計	51	95	111	115	57	56	84	117	142	102	114	128	190	185	117	59	43	26	9	1	1802	
	男	80	117	131	159	66	77	119	167	166	146	152	174	227	227	162	126	93	59	12	2	2462	
真柴地区	女	71	115	119	146	74	71	114	158	179	122	152	173	228	225	187	148	119	94	55	23	2573	
	男女合計	151	232	250	305	140	148	233	325	345	268	304	347	455	452	349	274	212	153	67	25	5035	

H23年3月末		H24年3月末				H25年3月末				H26年3月末				H27年3月末				2016/2/19						
行政区	男女別	人口	55歳以上	準限界率	限界率	人口	55歳以上	準限界率	限界率	人口	55歳以上	準限界率	限界率	人口	55歳以上	準限界率	限界率	人口	55歳以上	準限界率	限界率			
		男	240	109	45.4%	53	22.1%	230	104	45.2%	51	22.2%	228	107	46.9%	56	24.6%	229	110	48.0%	60	26.2%	228	
真滝12区	女	240	126	52.5%	71	29.6%	234	125	53.4%	71	30.3%	232	127	54.7%	75	32.3%	231	127	55.0%	78	33.8%	230	127	55.2%
	小計	480	235	49.0%	124	25.8%	464	229	49.4%	122	26.3%	460	234	50.9%	131	28.5%	460	237	51.5%	138	30.0%	458	236	51.5%
	男	705	292	41.4%	165	23.4%	708	302	42.7%	1														

(4) 真柴地区の課題（アンケート結果から）

- ①家庭を築く年代の減少が著しいものになっており、地域活動を担う世代でもあることから、地域活動の停滞が憂慮されます。
- ②真滝1・3区のスーパー閉店により、高齢者世帯では買い物に不便さを感じているようですが、アンケート調査結果から、買い物だけではなく通院、銀行、郵便局、その他の交通アクセスに対して、全地区が不便さを感じているようです。
- ③子供たちの通学路及び子供達が遊ぶ公園等に、安心安全を憂慮する多くの方々から心配の声がありました。
- ④安心して暮らすため、防犯カメラの設置等多くの方々から要望がありました。
- ⑤子育て世代の方々から、子育てサークルのような集える場所・施設が欲しいとの声がありました。
- ⑥多くの世代の方々から、気軽に集える場所・施設が欲しいとの声がありました。
- ⑦子供達の声が聞こえて、若い世代が定住できる地域になって欲しいとの声が、多数ありました。
- ⑧少子高齢化に対して、憂慮する声が多数ありました。

以上のアンケート結果から、高齢化の進展により高齢者の一人暮らし世帯や高齢者夫婦世帯が増え、買い物、通院、草刈などの日常生活が大変になり、更に地区の班長等の負担が困難な地域もあり、地域での見守りや支援が必要となっています。

また、話し相手がいないことや気軽に集まれる場所が不足するなど交流の機会も少なくなっています。

(5) 地域の10年後

人口減による少子高齢化は非常に大きな問題となっていますが、各地区において空き家が目立ってきており、空き家活用できいかとの提言もあります。

真柴地区の10年後は、どのようにになって欲しいかとのアンケートでは、以下に示す意見がありましたが、色々な世代の方々でイベントを開催し、皆で協力し合ってまちづくりを創設出来ればと思います。

- ① 活気があって、若者が定住できる地域
- ② 高齢者・障がい者に優しい地域
- ③子供達の声が聞こえて、自然豊かな地域

4. 地域づくり計画

地域づくり計画の目標に対する、地域の課題と考えられる解決策

①高齢者・障がい者に優しく安心して暮らせる地域づくり

現状の課題	考えられる解決策
<p>◆高齢者等への支援者不足</p> <p>(ア) 定期的に訪問できる人が不在</p> <p>(イ) 送迎できる手段がない</p> <p>(ウ) 独居世帯の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし世帯が増え、健康管理や発病時の対応が懸念される。 ・一人暮らしの『オレオレ詐欺』被害が懸念される。 <p>◆障がい者への支援</p>	<p>◇地域での支援の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者名簿の作成～活用 ・定期的なイベントを開催し、市のバスの運行を検討～要望する <p>◇公的機関の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民区／自治会毎に、支援者になることが可能な人を名簿化 <p>◇支援要否確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの地域にどのような要支援者の存在、支援要求の有無調査
<p>◆安否確認の方法</p> <p>(ア) 一人暮らし世帯の健康管理や急病時の対応が懸念される</p> <p>(イ) 地域の情報が伝わっているか懸念</p>	<p>◇安否確認方法の仕組み（見守り活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者名簿（上記）を活用 ・回覧板を回す時に、声がけする ・班長が声がけする等
<p>◆気軽に集まれる場所の不足</p> <p>(ア) 独居世帯でなくとも、昼間は家族が働きに出ると、話し相手がいなくなる</p> <p>(イ) 気軽にお茶飲み等出来る場所がない。</p>	<p>◇既存のコミセン、集会所活用のサポート体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミセンに『ふれあいサロン』のような場所を確保
<p>◆高齢者世帯の環境整備不足</p> <p>(ア) 除雪、草刈等の作業を頼める人が不在</p> <p>(イ) 個人宅のサポートには、限界あり？</p>	<p>◇ボランティア組織の立上げ活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域横断的なボランティア組織の検討
<p>◆高齢者が生きがいを感じるイベント</p> <p>(ア) コミセン、集会所等にて定期的なイベントが開催出来ないか</p>	<p>◇イベント開催時の移動手段</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなイベントに生きがいを感じるのか、調査～検討～実施
<p>◆買い物弱者の対応</p> <p>(ア) バスの本数が少ない</p> <p>(イ) バスがあっても乗車人数が少ない</p>	<p>◇既存交通機関の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的別／曜日時間帯の調査 ・相乗りタクシーの曜日／時間帯調査 <p>◇移動販売車の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動販売車の必要可否を地域毎に調査

②皆で協力し合い安心して暮らせる地域づくり

現状・課題	考えられる解決策
<p>◆通学路の道路整備</p> <p>(ア)定期的な通学路の点検がされていない (イ)通学路に危険個所の有無未調査 (ウ)通学路で草刈等環境整備が必要な個所有無調査</p>	<p>◇通学路の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路を実際に歩いてみる ・通学路マップを作成する ・各民区総出で通学路の草刈等実施検討 ・子供110番の検討 ・子供見守り隊ボランティアの募集と通学路での見守り実施（登録制）
<p>◆周辺の環境整備不足</p> <p>(ア)地域周辺の草刈、環境整備が各地区毎で実施されているが、真柴地区一斉での整備機会がない</p>	<p>◇真柴地区一斉清掃等の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要可否含めて検討～実施 ・必要に応じて、草刈機燃料を負担する
<p>◆地域全体の交流がマンネリ化していないか</p> <p>(ア)文化祭の参加者が地区に偏ってないか 時間的な制約がないか (イ)運動会では、未就学児童・低学年も参加出来る競技があるか (ウ)若年世代が地区のイベントに参加していないのではないか</p>	<p>◇地区イベントの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代が参加できるイベント企画 <p>◇若年世代のイベント参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年世代に立案してもらってはどうか ・未就学児、低学年の子供が参加できれば親も来るのでは
<p>◆地域コミュニティの希薄化</p> <p>(ア)生涯学習やスポーツ活動の指導者不足 (イ)隣同士のコミュニティーの希薄化 (エ)住民の思いを気軽に語れる場がない (オ)若い人が地域にとけこめない</p>	<p>◇地区民交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の徹底 ・コミセンの活用 ・コミセンへの送迎の検討
<p>◆地域の拠点整備</p> <p>(ア)指定管理制度とは、どのようなものか (イ)指定管理制度の勉強不足</p>	<p>◇指定管理制度の導入推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理導入の検討 ・指定管理制度の調査研究

③活気があって若者が定住できる地域づくり

現状・課題	考えられる解決策
<p>◆独身者が多いのか少ないのか？</p> <p>(ア)独身者が多いのか少ないのか不明 (イ)独身者が居ても、地域イベントに出てこない (ウ)世話役（昔の仲人のような）をする人がいない</p>	<p>◇各種行事の中に婚活の場のようなイベントを盛り込めないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ずは、若者に来てもらえるイベントの検討～実施 ・若者にイベントの検討から入って貰う ・夏祭りのようなイベントを若者主催で出来ないか ・青年会／青年団のような組織が必要ないか <p>◇空き家に若者居住できないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ずは、空き家がどの地域に何件あるのか把握から
<p>◆真柴地区の伝統芸能継承</p> <p>(ア)どのような伝統芸能があるのか (イ)どこにどのような史跡があるのか、地域に紹介出来ないか</p>	<p>◇真柴地区の伝統芸能継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能継承者はだれか？ <p>◇真柴地区の史跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡巡りツアー開催

④子供達の声が聞こえる地域づくり

現状・課題	考えられる解決策
<p>◆子供同士の交流が少ない</p> <p>(ア)子供同士で遊べる環境や機会が少ない (イ)家でも外出先でもゲームばかりで、外で遊ばなくなってるのではないか (ウ)気軽に利用できる公園が少ない (エ)未就学児童、低学年児童が集まる場所がない</p>	<p>◇子どもが集まる居場所の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブの真柴バージョン検討 ・子どもが自由に集まって勉強したり、遊んだりできる環境整備検討（ ・グラウンドの利活用 ・夏休みのラジオ体操を復活 ・地域で未就園児を預かる場合の資格等について情報収集ほか

⑤自然環境が豊かな地域づくり

現状・課題	考えられる解決策
<p>◆防犯・防災</p> <p>(ア) 自然災害が多くなってきている (イ) 夜道が暗いところがある</p>	<p>◇防犯・防災に関する意識改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会組織の横断的な活動検討 (例: 真柴地区の防災訓練実施等) ・防犯講習会の開催 ・変質者などの注意喚起 ・子供 110 番の協力者募集等
<p>◆交通安全</p> <p>(ア) 県道道路のわきの草が放置 (伸びたまま) (イ) 冬季の歩道凍結箇所</p>	<p>◇交通安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路脇等の草刈り ・融雪剤の設置 ・地区毎に道路の危険箇所を出し合う ・「スピード落とせ」等の看板設置
<p>◆生活環境</p> <p>(ア) ゴミのポイ捨て (イ) 歩道の環境が悪い</p>	<p>◇道路整備の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>◇環境衛生への取り組み促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ分別の徹底 ・歩道の清掃 ・ルールマナー標識作成～掲示 <p>◇有害鳥獣駆除対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に被害発生の有無調査

5. 計画スケジュール

実施項目 (基本方針)	実施事業	実施年度 (H27~H28)	実施主体
・真柴を知ろう ・真柴の歴史研修 ・真柴の文化振興	・真柴地区区割りマップ作成 (市民センター、集会所設置) ・真柴の歴史を学ぼう 親子で史跡巡り実施、 最低2~3回開催 ・文化祭開催(実行委員会) ・展示用パネルの購入	H28~ H28~ H28~ H28~	真柴まち協 総務企画部
・安心安全な 地域づくり ・地域安全に対する 啓発活動	・防犯カメラの設置 ・地域安全環境整備 ・地域安全に向けた、危険個所の 洗い出しパトロールの実施	H28~ H28~ H28~	真柴まち協 生活安全部
・体力づくり活動 ・健康づくり研修	・歩け歩け運動開催(体協と共に) 各自年間歩数目標設定し、表彰 制度の検討 ・スポーツ吹き矢の活動推進 ・100歳体操用備品購入 ・食生活改善講演会開催 ・認知症講演会開催	H28~ H28~ H27~ H28~ H28~	真柴まち協 健康づくり 部
・子育て育成 ・世代間交流	・公園整備(現状把握) ・挨拶運動の実施(看板設置) ・学習サークル活動の実施 (コミセンを利用) ・世代間交流イベントの実施	H28~ H28~ H28~ H28~	真柴まち協 子育て 生涯教育部
・産業振興と 地域住民交流	・青空市開催(コミセン会場) ・雨天対応用テント2張購入 ・共同菜園 ・フリーマーケットも共催 (子育て生涯教育部と共同)	H28~ H27~ H28~ H28~	真柴まち協 農産業部
・真柴まちづくり 協議会拠点施設 整備	・指定管理制度導入の検討 (調査、研究、研修会参加) ・プロジェクトとスクリーンの 購入 ・協議会保管品の倉庫購入	H27~ H27~ H28~	真柴まち協
・地域安全環境整備 ・子育て育成整備	・歩道整備個所調査と歩道整備 ・公園新設と既設公園へのトイレ 設置	H28~ H28~	地域と行政 が共働する

6. まちづくり推進組織

真柴まちづくり協議会役員名簿

表 7

NO	役員名	役職／専門部	氏名	所属	NO	役職	役職／専門部	氏名	所属
1	会長	真滝13区長	金野 忠	13区	25	理事	子育て・生涯教育部	齋藤 喜芳	12区
2	副会長	真滝12区長	岩渕 一美	12区	26	理事	子育て・生涯教育部	橋本 二男	13区
3	副会長	真滝14区長	熊谷 昭三	14区	27	理事	子育て・生涯教育部	作並 孝行	14区
4	副会長	真滝15区長	鈴木 勲	15区	28	理事	子育て・生涯教育部	阿部 恵美子	15区
5	副会長	東中田区長	佐藤 健也	東中田	29	理事	子育て・生涯教育部	佐川 義明	東中田
6	理事	総務企画部長	小野寺 勝三	12区	30	理事	子育て・生涯教育部	古澤 由実	13区
7	理事	総務企画部副部長	千葉 哲夫	東中田	31	理事	子育て・生涯教育部	只野 弘三	東中田
8	理事	総務企画部	菅原 節子	13区	32	理事	農産業部長	千葉 清	14区
9	理事	総務企画部	齋藤 文朗	13区	33	理事	農産業部副部長	千葉 真義	13区
10	理事	総務企画部	三浦 正敏	14区	34	理事	農産業部	齋藤 俊美	13区
11	理事	総務企画部	佐藤 博	15区	35	理事	農産業部	吉田 昌夫	12区
12	理事	生活安全部長	登嶋 秀	東中田	36	理事	農産業部	熊谷 福男	15区
13	理事	生活安全部副部長	千葉 春男	15区	37	理事	農産業部	鈴木 謙一	東中田
14	理事	生活安全部	小野 一郎	12区	38	監事	真滝12区副区長	岩渕 哲夫	12区
15	理事	生活安全部	高橋 四五六	13区	39	監事		金野 幸造	13区
16	理事	生活安全部	黒澤 紀雄	14区	40	監事		石川 肇	14区
17	理事	生活安全部	佐藤 忠士	15区	41	監事	真滝15区副区長	及川 征記	15区
18	理事	健康づくり部部長	岩渕 式男	15区	42	監事		上野 昭子	東中田
19	理事	健康づくり部副部長	増井 禮子	13区	43	事務局長	総務企画部	南洞 稔	東中田
20	理事	健康づくり部	黒澤 洋子	14区	44	事務局	農産業部	佐々木 等	12区
21	理事	健康づくり部	千葉 栄子	12区	45	事務局	子育て・生涯教育部	千葉 次雄	13区
22	理事	健康づくり部	千葉 かつ江	14区	46	事務局	健康づくり部		14区
23	理事	健康づくり部	田中 光子	東中田	47	事務局会計	生活安全部	佐々木 晃一	15区
24	理事	健康づくり部	井上 和行	13区	48		分館長	菅原 直	館長
					49		地域協働推進員	小野寺 徹	東中田

平成28年3月4日作成

真柴まちづくり協議会